

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハグマグ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成し、特性等に応じた専門性のある支援が行えている。	個別支援計画を作成する時だけでなく、送迎時にも保護者の方とコミュニケーションを取り、学校や家での様子等共通理解を持てるようにしています。児童の特性や保護者の要望等を聞き、それを意識して療育につなげています。	これまで以上にコミュニケーションを密にし、相談しやすい事業所とさせていただけるよう努めてまいります。
2	日頃から、児童の状態を保護者と伝えあい、児童の健康や発達の状態について共通理解が図れている。	毎回その日の様子をお伝えし、学校やハグマグであった事、トラブル等あればその説明をする等、児童の一日がどんな風であったかを出来るだけ詳しくお伝えできるように気をつけています。	活動中の写真を定期的にお渡ししています。口頭だけでは伝えきれない、子どもたちの楽しそうな姿を見ていただいています。
3	利用児が楽しく通所出来ている。	個々の好みに合った遊びや活動、遊び感覚で苦手分野も克服出来るような取り組みを考え、楽しんで過ごしていただけるよう職員間で話し合いをしています。	得意な事だけではなく苦手な事にも取り組み、自信につながるような支援を心がけています。今後も楽しく過ごしていただけるよう努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画や安全マニュアル、避難訓練等実施に関する情報があまり知られていない。	避難訓練をした際は、通信やSNS等に乗せ、保護者の方にも様子を見ていただけるようになっていますが、安全計画や安全マニュアル等、いつでも見られる状態にはなっていない事が課題として出てきました。	通信やSNSを通じた情報発信を続けながら、安全マニュアル等も保護者の方がいつでも確認できるよう、公表の場を検討中です。
2	児童クラブや地域の子どもたちと関わる場がない。	児童クラブ等に出かける機会がなかった。	長期休みの際に大きい公園に出かけて、地域の子どもたちと関わる時間がありました。機会は多くはないですが、少しずつ交流が持てるようにしていきます。
3	ペアレント・トレーニングや、家族等が参加できる研修会が実施されていない。	ペアレント・トレーニングが出来る職員に限られているため周知はしていなかった。	家族向けの研修会など、保護者の方のニーズを確認しながら開催を検討していきます。